

国際連合は、1948年、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利について平等である。人間は、理性と良心を授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならぬ」と、平和と人間の権利保障の実現をめざす「世界人権宣言」を採択しました。その際に、これまで戦争の犠牲になってきた「女性と子ども」の人権保障を最優先の政治課題とすることを申し合わせたのです。

日本では長い間、「女には権利などない」という価値観が支配的であり、女性の人権は保障されていませんでした。例えば、女性には投票権がなく、かつて当たり前と考える時代が長く続きましたが、世界的な婦人参政権運動の流れを受けて、やっと女性の参政権が認められたのです。

そして、1979年には国連で、「女性に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」（女性差別撤廃条約）が採択されました。

日本が、この条約を批准したのは1985年です。条約との整合性を図るため、国内

法の改正が必要だということで、「男女雇用機会均等法」がつくられ、雇用の場における採用や昇進などについて、男女平等の機会を確保するよう、企業に努力義務が課せられました。

その後改正され、禁止事項となりましたが、セクハラ防止に対する配慮義務も定められました。

女性差別などの性差別をなくすためのさまざまな取り組みは、男女共同参画社会づくりとなり、今や行政の中では男女共同参画社会をめざすということが、当然必要なことであるとされています。女性の人権は、歴史の中で次第に変化し、進展してきましたが、法律や制度によって認められてきたということです。

否定的な固定観念（偏見）や差別意識を取り除くための教育・啓発活動を行うと同時に、人権を保障する法律や制度、仕組み作りが重要です。

「西条市人権文化のまちづくり条例」は、女性をはじめ、あらゆる人の人権侵害をなくし、誰もが安心して暮らせるまちをつくるためのものであります。

赤十字募金へのご協力 ありがとうございました

赤十字募金（赤十字社員増強運動）が5月1日から全国一斉に展開されました。市内でも多くの方にご協力いただき、6月22日現在で14,315,074円の募金が寄せられました。皆さまのご協力ありがとうございました。

寄せられた募金は、赤十字の国際救援活動、災害救助活動、血液事業など幅広い事業で活用され、市内では、救急法の講習、火災や自然災害などの被災者への救助物資や見舞金などに活用されます。今後ともご協力をお願いします。

問合せ

- 市庁舎別館社会福祉課総務福祉係 TEL0897-52-1288
- 各総合支所市民福祉課福祉係（東予）、市民福祉係（丹原・小松）

市内幼稚園・中学校に 音楽機材が寄贈されました

3月25日に開催された花王ファミリーコンサートin西条 遠藤真理 ものがたりとチェロの調べ「ゴーシュの弾いたトロイメライ」の収益金で、花王㈱より市内幼稚園・中学校に音楽機材が寄贈されることとなり、6月20日に花王グループである愛媛サニタリープロダクツ㈱の中西望工場長（市長右側）から目録が手渡されました。

寄贈いただいた音楽機材は、授業などで有効に使わせていただきます。なお、同社から、平成22年度においても市内小学校に音楽機材を寄贈いただいています。



ありがとうございます
ございました

次の方々からご厚志をいただきました。心からお礼申し上げます。（順不同 敬称略）

まごころ銀行へ

■個人

- 為頼光夫（大町）
- 青野宏通（高田）
- 稲井透（壬生川）
- 桑村豊（丹原町古田）
- 佐伯久登（今治市）

■各種団体

- 光明会まつり実行委員会
- 国際ソロプチミスト西条
- 国際ソロプチミスト西条
- 国際ソロプチミストいしづち

人権擁護委員が委嘱されました

7月1日付けで、法務大臣から次の方が人権擁護委員に委嘱されました。

- 加藤義範氏（大町）・・・再任
- 荒井宏子氏（洲之内）・・・再任
- 渡部三枝子氏（石延）・・・再任
- 日野克彦氏（小松町新屋敷）・・・再任
- 水安のり子氏（小松町大頭）・・・新任

人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づき委嘱された私たちの街の相談パートナーです。暮らしの中での悩みや心配事、困り事のある方は、お近くの人権擁護委員にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

人権相談は、毎月実施しています。日程や実施場所については、定期無料相談（左のページ）に掲載していますのでご確認ください。

問合せ 市庁舎本館市民生活課 TEL0897-52-1243